

令和7年度 第1回伊那市立中学校部活動の地域移行協議会 会議録

開催日時 令和7年7月17日（木） 午後6時30分から8時まで

場所 伊那市役所 5階 501・502 会議室

出席者 委員19名、事務局等13名

会議事項（進行：高嶋教育次長）

1 開会のことば（三澤健康福祉部長）

2 挨拶（福與教育長）

3 委嘱

4 自己紹介

今年度新たに委嘱された委員、異動のあった事務局職員

5 協議会の目的及び要綱について

6 経過等について

5, 6について、事務局から一括して説明

【質疑等】 特になし

7 協議会の正副会長の選任について

・委員から事務局へ一任の声があり、事務局から提案し、次のとおり承認された。

会長：松崎 旻 委員

副会長（2名）：伊藤 直人 委員、北沢 理光 委員

8 会議事項（進行：議長（松崎会長））

（1）学校訪問報告について

事務局から資料に沿って説明

【質疑等】 特になし

(2) 協議会の変更について

(3) 今年度のスケジュールについて

(2)(3) 一括して事務局から資料に沿って説明

【質疑等】 特になし

(4) 「先行して地域クラブを立ち上げる」について

事務局から資料に沿って説明。8月に国が受益者負担の目安を示すこととしているため、動向を見ながら考えていくことを補足した。

【質疑等】

(委員) どの程度の規模で地域展開をしようとしているのか。部活動単位なのか、種目単位なのか、現状を知りたい。

→ (事務局) 現在 60 の部活動がある。聞き取りなどをしていく中で、約 40 くらいが立ち上がってくると見込んでいる。

(委員) チーム編成などはどのように考えているか。

→ (事務局) 地域クラブの立ち上げは、部活動単位でも、複数校合同でも良い。40 というのは、決定した数字ではなく、聞き取りをしていく中での見込んでいる数である。

(委員) アンケートを見ると、顧問の先生方の中には、全ての部活動を地域展開しなければいけないと考えている方もいるのではないかと。各学校ではそのあたりは共有されているのか。

→ (委員) これまでに協議会で示されてきている市の方針やスケジュールなどは、中学校内で共有されている。地域クラブの立ち上げについては、近隣の市町村のように全て一斉に行うのか、というあたりは協議会の進捗を見守っている状況。

合同チームについては、これまでは人数が少なくてチーム編成ができない場合に救済措置として合同チームが認められていた。人数が減っていくのは市の周辺部であるため、地理的に遠い学校と合同チームを組んでいた。地域クラブの合同チームを、エリアで決定すると保護者の送迎など助かるのではないかと。エリアごとにチームを編成するなどの方針があれば決まってくるのではないかと。

学校ごとなのか、競技種目ごとなのかというところに関しては、顧問ごとに認識が異なると思われる。競技種目ごとに検討する必要があると考えている教職員と顧問をしている部活動単独で検討していくと考えている教職員がいると思われる。

(会長) 事務局から説明のあった案については、決定次第関係者に通知して進めて

ほしい。

(5) 「伊那市地域クラブ指導者リスト設置要綱」について

事務局から資料に沿って説明

【質疑等】 特になし

(委員) 指導者の勝利第一主義はやめた方が良い。休みの問題も細かく決めていくべきである。

(地域クラブの認定に関することは、次回以降に決めていきたい)

(6) 「伊那市認定地域クラブの認可に関する要綱」について

事務局から資料を提示。次回以降に協議し決定していきたい。

(7) 「長野県スポーツ指導者資格取得促進事業補助金交付要綱」について

事務局から資料に沿って説明。県の補助に合わせて、市でも検討していきたい。

(8) 中学校部活動顧問と地域文化芸術スポーツ活動代表者との懇談会について

事務局から資料に沿って説明。

(9) その他

参考資料、別冊資料について事務局から説明

(委員) 誰が進めていくのかがわからない。市なのか、協議会委員なのか、顧問の先生か。

→ (事務局) 市町村によって、やり方はさまざまだが、資料にあるとおり、伊那市としては、クラブ創設は当事者の自発性、自主性を尊重するとしている。指導者もしくは保護者の方々が、自分たちの子供が活動していくために考えて、自発的にクラブを立ち上げていくことを考えている。

(オブザーバー) 運営団体、実施主体が決まらないとクラブが立ち上げられないのではないかと思うので、決めて進んでいけばよいと思う。地域クラブの認定要件など、8月に国が示すが、大きく方針が変わらないと思われる。待たずに進めていってほしい。

9 諸連絡

次回は10月～11月頃に開催予定

10 閉会のことば (伊藤副会長)